

行政経営指標(平成21年度～23年度)

指 標	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
職員数(総数)※1 (単位:人)	2,398	100%	2,347	100%	2,309	100%
市長部局(21年度は下水道事業を含む)	1,512	63.1%	1,421	60.5%	1,418	61.4%
上下水道局(21年度は水道事業のみ)	173	7.2%	※7 239	10.2%	222	9.6%
病院事業	211	8.8%	211	9.0%	211	9.1%
教育委員会	460	19.2%	434	18.5%	416	18.0%
その他の委員会等の事務局※2	42	1.8%	42	1.8%	42	1.8%
ラスパイレズ指数	99.7		99.8		99.9	
歳入決算(普通会計・財源別) (単位:千円)	108,321,684	100.0%	107,117,558	100.0%	114,171,023	100.0%
自主財源	51,775,448	47.8%	48,908,370	45.7%	51,799,000	45.4%
市税	41,043,909	37.9%	40,576,544	37.9%	40,296,173	35.3%
その他	10,731,539	9.9%	8,331,826	7.8%	11,502,827	10.1%
依存財源	56,546,236	52.2%	58,209,188	54.3%	62,372,023	54.6%
地方交付税	16,907,972	15.6%	19,027,420	17.8%	19,105,267	16.7%
国県支出金	24,683,233	22.8%	23,435,266	21.9%	24,938,661	21.8%
市債	10,021,000	9.3%	10,902,292	10.2%	13,546,437	11.9%
その他	4,934,031	4.7%	4,844,210	4.6%	4,781,658	4.3%
歳出決算(普通会計・性質別) (単位:千円)	107,057,760	100.0%	104,336,542	100.0%	112,056,912	100.0%
義務的経費	52,126,651	48.7%	56,044,095	53.7%	57,640,784	51.4%
人件費	17,084,308	16.0%	16,257,026	15.6%	16,575,204	14.8%
扶助費	19,488,280	18.2%	24,079,269	23.1%	25,557,678	22.8%
公債費	15,554,063	14.5%	15,707,800	15.1%	15,507,902	13.8%
投資的経費	17,252,017	16.1%	12,121,206	11.6%	17,543,108	15.7%
(普通建設・災害復旧)	17,252,017	16.1%	12,121,206	11.6%	17,543,108	15.7%
その他の経費	37,679,092	35.2%	36,171,241	34.7%	36,873,020	32.9%
物件費	11,385,642	21.8%	12,587,840	22.5%	13,088,315	22.7%
補助費	16,355,880	31.4%	11,050,745	19.7%	11,377,567	19.7%
繰出金	7,182,937	13.8%	7,961,811	14.2%	8,368,519	14.5%
その他	2,754,633	5.2%	4,570,845	8.1%	4,038,619	6.9%
主要三基金残高※3 (単位:千円)	4,980,005		7,614,872		7,099,214	
財政調整基金	4,518,547		7,142,764		6,621,159	
市債管理基金	251,607		262,152		268,036	
公共施設整備基金	209,851		209,956		210,019	
市債残高(普通会計)※4 (単位:千円)	132,960,047		130,470,292		130,671,597	
市債依存度(一般会計, 財源対策債等を除く)	6.2		5.9		7.2	
公債費負担比率	21.0		20.0		19.6	
経常収支比率	95.9		90.4		94.3	
実質赤字比率	※6		※6		※6	
連結実質赤字比率	※6		※6		※6	
実質公債費比率	13.3		13.3		13.6	
将来負担比率	129.2		117.0		115.2	
出資等法人数	61		61		61	
有価証券(株式)	22		22		22	
出資による権利(証券, 証書等)	39		39		39	
指定管理者制による公の施設数	213		217		218	

※1 職員定数は、各年度とも4月1日現在の数値である。

※2 「その他の委員会等の事務局」は、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局、公平委員会事務局である。

※3 基金残高は、各基金とも年度末における残高である。

※4 市債残高は、年度末における残高である。

※5 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率については、平成19年に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」によるものである。

※6 実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、当市においては黒字であるため数値は算出されていない。

※7 平成22年4月に、水道部と下水道部が組織統合し、上下水道局となる。